



「教えないスキル」からの学び

校長 伊藤 雄一

この夏、「教えないスキル～ビジャリアルに学ぶ7つの人材育成術」(小学館新書)の筆者である佐伯夕莉子さんの講演をオンラインで伺う機会がありました。佐伯さんは、スペインのプロサッカーチームビジャリアルユリコの育成部でスペイン代表を育てる重要なポストを担う役割を経験し、現在はJリーグの常勤理事を務められています。

ビジャリアルは、欧州及びスペインで最も堅実なカンテラ(育成組織)を持つと評価されています。佐伯さんは、2014年から人格形成に軸足を置いた指導を追求したコーチ120人のひとりです。なんと、指導者自身にアクションカメラとピンマイクを装着。実際の指導をビデオ撮影し、撮影した動画からの気付きをもとに指導の改革をすすめてきたそうです。カメラとマイクをつけ、自分の指導が丸裸になった佐伯さんやコーチ陣は気付き始めました。「指導が一方通行だ。子供の判断に対し、僕らは自分の考えを押しつけるばかりで、彼らの判断について尋ねてみたことがあったらどうか」——私自身を振り返りました。コーチたちと自分自身が重なる場所が多々あります。学校現場においても、家庭や社会においても、限られた時間の中、求められることが多いと誰しも陥りがちなことかもしれません。

ビジャリアル5歳児の5歳児は「団子」にならないそうです。サッカーをやった人なら子供たちが最初は「団子」のようにボールに集まるのがごく自然なのはお分かりかと思います。どのようなアプローチをするか。①団子になることはごく自然であり、決して否定しない。②団子になる子供たちの気付きをスルーせず「団子になるとボールがもらえないね」「みんなボールに触れたかな?」のように対話をする。③3歳児、4歳児、5歳児なりの気付きを大切に、実際に「彼らの見ている景色」を知り、そこに一緒に立ってみる。「どうしたらパスがもらえるかな?」「どうしたらパスができるかな?」と問いかける。コーチたちは、指示や命令よりも「問い」を投げることを大切にしていきました。(『問い』を投げる)は「7つの人材育成術」のうちの1つ)

佐伯さんたちがこのように考えるようになったきっかけ。それは、選手たちを「フットボール選手」としてしか育成してこなかったことへの反省からでした。「人格形成ができることは、必ずフットボーラーとしての進化を促進させるはずだ…」と、人格形成に軸足を置いたのです。

「教えないスキル」、教えずして人を伸ばす…。理想かもしれませんが、私たち大人が、「子供たちが自分で考える機会を少しでも奪わない」という考えは大切にしていきたいと感じます。

10月。感染防止に努めながらも、通常の学校生活がスタートします。田柄小の「実りの秋」に向けて今月も一歩ずつすすんでいきます。

日	曜	10月の行事予定
2	土	運動会日時変更のため休み
4	月	運動会日時変更のため登校日 秋の読書旬間始(~22日) 委員会活動
5	火	たてわり班活動 未来塾(2・3年)
6	水	安全指導日
9	土	学校公開日 (A 時程3時間授業・C→D グループ)
12	火	元気アップタイム
13	水	B 時程4時間授業日 研究会のため
14	木	田柄中学校 部活動体験(6年) プラネタリウム出前授業(4年)
15	金	クラブ活動
18	月	B 時程4時間授業 令和4年度入学児童 就学時健康診断
19	火	未来塾(2・3年)
20	水	運動会
21	木	運動会(予備日)
22	金	A 時程4時間授業(研究会のため) 2年1組は5時間授業 秋の読書旬間終
25	月	B 時程4時間授業 (校区別研究協議会のため)
26	火	移動教室事前健診(6年) かぶ植え体験活動(4年)
27	水	避難訓練
28	木	岩井移動教室始(6年) セーフティ教室(1・3年)
29	金	5時間授業日 岩井移動教室終(6年)

秋の読書旬間について

学校図書館部

10月4日(月)から22日(金)まで、秋の読書旬間を行います。感染症対策のため、制約のある中での読書旬間ですが、学年や学級で読書に親しめるような取り組みを行っていきます。また、図書委員も読書旬間を盛り上げる取り組みを考えて実施できたらと考えています。6月は、家庭や学校で落ち着いて読書を中心に取り組みました。10月は、読み聞かせや友達とおすすめる本を紹介し合ったり、図書室に足を運んだりすることで、様々なジャンルの本に親しみ読書の楽しさを感じてほしいと思います。

今後の学校公開について

学校公開日	2校時	3校時
10月 9日(土)	Cグループ	Dグループ
11月13日(土)	Bグループ	Aグループ
12月 11日(土)	Dグループ※	Cグループ※

【12月11日(土)について】

- ・1~4年生…2校時がDグループ、3校時がCグループの参観です。
 - ・5年生…練馬区連合音楽会が中止となったため、合奏の発表を4校時、5年生の全保護者が参観できます。
 - ・6年生…卒業記念コンサート(学級毎の合奏発表)を2・3校時、6年生の全保護者が参観できます。
- ※感染状況等により更に変更があることをご了承ください。

■学校公開、参観についての詳細は、別途お手紙でご案内します。(各家庭2名までの参観は変わりありません)

■3学期の学校公開、参観については感染状況や2学期の公開実施状況を踏まえ、あらためてお知らせします。

■年度当初12月11日(土)に予定していた、「持久走大会」と事前の全校の取り組みは実施を見合わせます。体育の「体力を高める運動」等、同様の内容を学級の授業で取り組みます。大人数で長い時間マスクを外しての活動となることや他の行事との兼ね合いのための対応です。ご理解の程よろしく願いいたします。

10月1日からの教育活動について(概要) ~練馬区教育委員会より~

「改訂版 練馬区立学校(園)感染予防のガイドライン(第三改訂版)」を踏まえた教育活動を実施するものとします。

※「ガイドライン」の詳細は本校ホームページからご覧になれます。

1 10月1日以降の授業について

宣言や措置の状況にかかわらず、各学校の教育課程に基づく通常の日程とする。

2 10月1日以降の教育活動について

緊急事態宣言が発出されているとき…感染症防止対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高まる学習活動は行わない。

(異学年での活動、歌唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカ等)

まん延防止等重点措置発出中…「改訂版 練馬区立学校(園)感染予防のガイドライン(第三改訂版)」に基づく感染予防対策を徹底したうえで実施する。ただし、調理実習は行わない。

3 宿泊を伴う校外学習について

小学校第6学年の移動教室と中学校第3学年の修学旅行は緊急事態宣言中の場合も、保護者の同意を得た上で実施する。

※6年生の移動教室は、1泊2日で実施。(今年度の5年生の移動教室は中止となりました)

4 感染症への不安からやむを得ず登校を控える児童生徒には、新型コロナウイルスが収束するまでの間、家庭学習の支援を行う。※児童がやむを得ず登校できないご家庭は学校までご相談ください。

10月の生活指導目標「落ち着いて生活しよう」 生活指導部

過ごしやすいい日が増えてきました。10月は、落ち着いて生活ができるように、「相手の目を見て静かに話を聞こう」「ろう下は静かに右側を歩こう」「遊びのルールを守ろう」等の具体的な週目標を示していきます。子供たちが安全で元気に過ごすことができるように指導をしていきます。